

学校適正規模に関する検討状況

校種	学級数	学級数 (各学年)	児童・生徒数			本検討委員会の意見等
			最小	平均	最大	
小学校	6学級	1学級	6	108	210	・クラス替えができない
	12学級	2学級	216	318	420	・児童数の微減でも単学級化する恐れ
	18学級	3学級	426	528	630	・17学級あると専科教員が1名増加 ・教科担任制には1学年3学級程度あるとよい
	24学級	4学級	636	738	840	・校外学習施設の人数制限を超過する場合がある
中学校	6学級	2学級	118	174	230	
	9学級	3学級	233	289	345	・区における現行の許容範囲
	12学級	4学級	348	404	460	・12学級あると教員配置が1名増加 ・概ね全教科に正規教員の配置が可能
	15学級	5学級	463	519	575	・現在の学校施設上、15学級が限度ではないか ・学年主任がまとめられるのは5学級位まで
	18学級	6学級	578	634	690	・16学級、18学級あると教員配置が1名増加
	21学級	7学級	693	749	805	
	24学級	8学級	808	864	920	
小・中学校 共通	-	-	-	-	-	・国の定める標準規模は、12～18学級 ・学級数が余りにも多いと、児童・生徒が校庭や体育館に集まり切れない ・児童・生徒数が多くなると、学年の統制が取りにくい

※小学校は全学年35人学級、中学校は1年生は35人学級・2～3年生は40人学級で算出